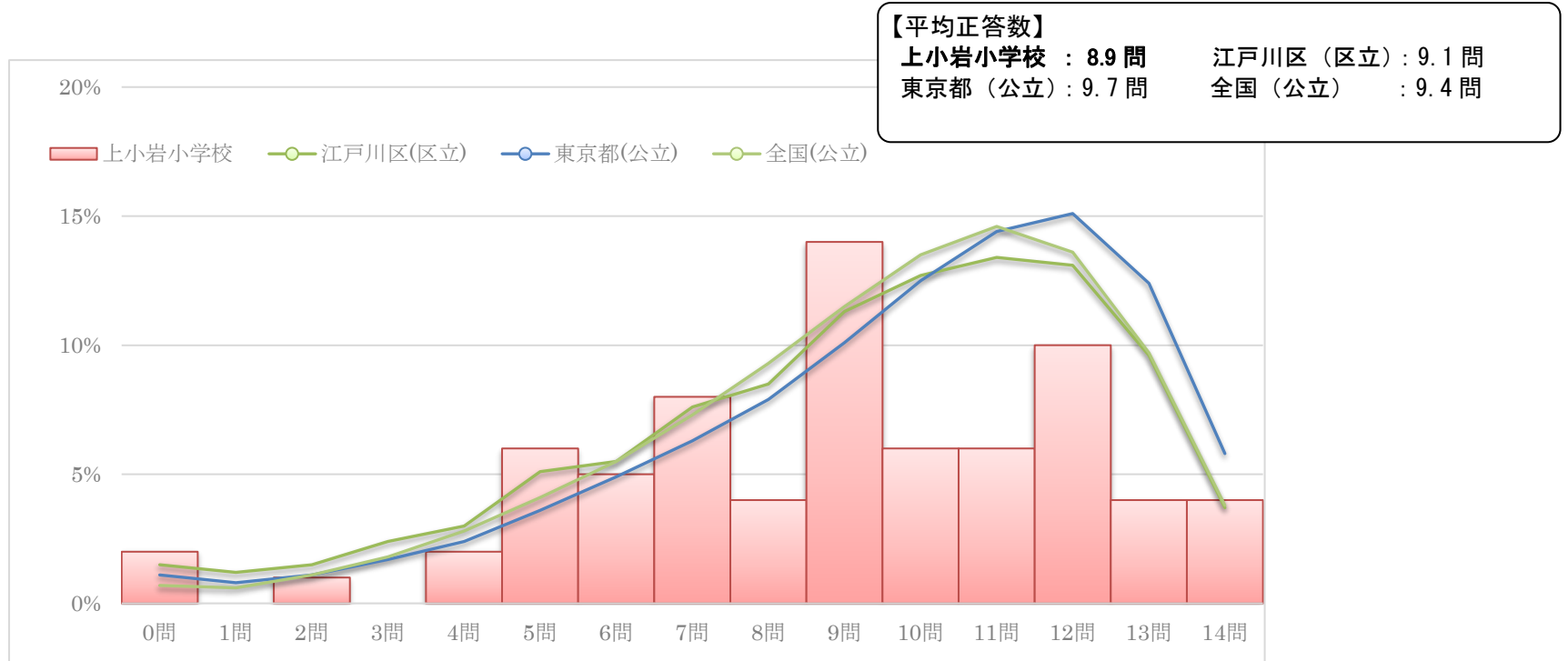


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 上小岩小学校

正 答 数 分 布



【分析結果と授業改善に向けて】

<分析>

内容C「読むこと」に関わる問題の正答率が比較的高く、都・全国の平均正答率を上回っていた。一方、内容(2)「情報の扱い方に関する事項」や内容A「話すこと・聞くこと」に関しては都・全国の平均正答率よりも大きく下回った。また問題量や情報量が多さに不慣れなため、問題番号が後半になるに従い、不正解の割合が増えている傾向も見られた。

<授業改善に向けて>

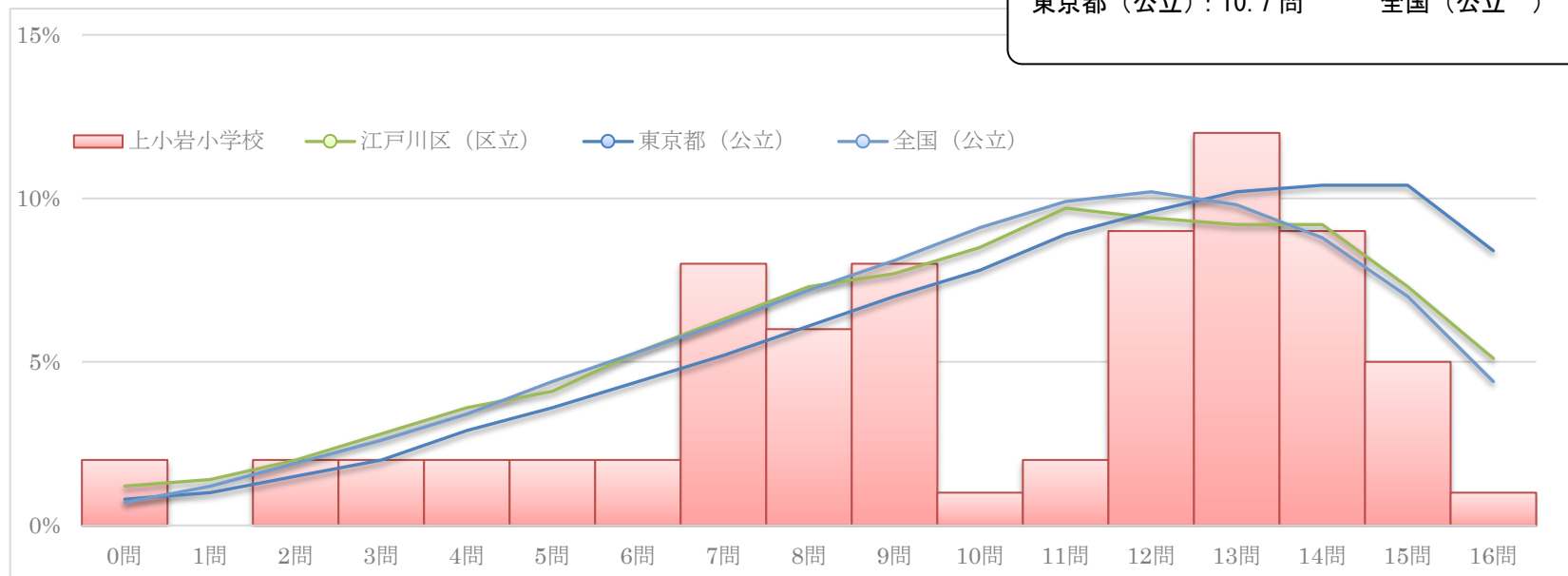
筆者の伝えたい内容、本文の要点や要約についての指導を充実し、言葉で表現する力を伸ばすために、国語科授業を中心として、全ての教科で言語指導の充実を図る。家庭学習でも音読を積極的に行い、文節や単語を理解する力を上げていく。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 上小岩小学校

正 答 数 分 布

【平均正答数】

上小岩小学校: 10.0 問 江戸川区 (区立): 10.0 問
 東京都 (公立): 10.7 問 全国 (公立): 10.0 問



【分析結果と授業改善に向けて】

<分析>

領域 A「数と計算」、領域 C ii「変化と関係」、領域 D「データの活用」は、全国平均正答率を上回っているか同等の数値であった。また思考・判断・表現を問われる問題よりも、知識・技能を問われる問題の方で正答率が下がっていた。問題の後半になるにつれ、回答が困難に感じる児童の割合が増えていた。

<授業改善に向けて>

単純な計算の無回答をなくすために、タブレットやワークシート等を有効に活用して反復練習を重ね、基礎学力向上につなげていく。言語での説明する力や思考力を伸ばすために、算数科での文章問題、立式の説明、自立解決での解法の説明等の指導に加えて「のびっ子」や「のびのび」の時間等の個別指導の時間を利用して個の力を伸ばしていく。家庭学習においてもドリルパークを活用し、個に応じた学習が進められるようにする。